

中学生ワークシート

佐賀県の 歴史と文化を学ぼう！

博物館の展示を通して郷土の歴史を理解しよう



() 中学校 () 年 () 組 名前 ()

佐賀県立博物館

1

【旧石器時代】～石器を作った人々～

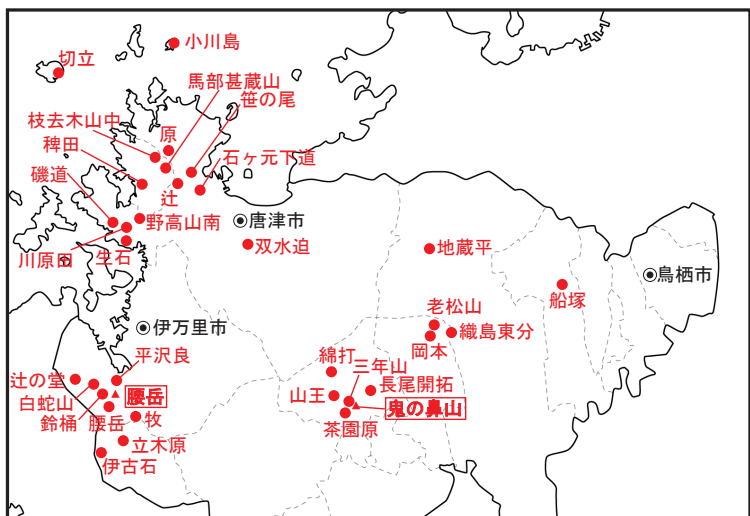
日本列島に人類が出現して以来、数万年もの長い間、狩猟・採集だけに頼る生活が続きました。この食料採集段階の第 1 の時代が「旧石器時代」であり、第 2 の時代が「縄文時代」なのです。佐賀県下でも、両時代の遺跡が少なからず発見されており、今後も調査・研究が期待されています。

Q1 佐賀県地域に人々が住み始めたのは、今から約何年前かな？ [] 年前

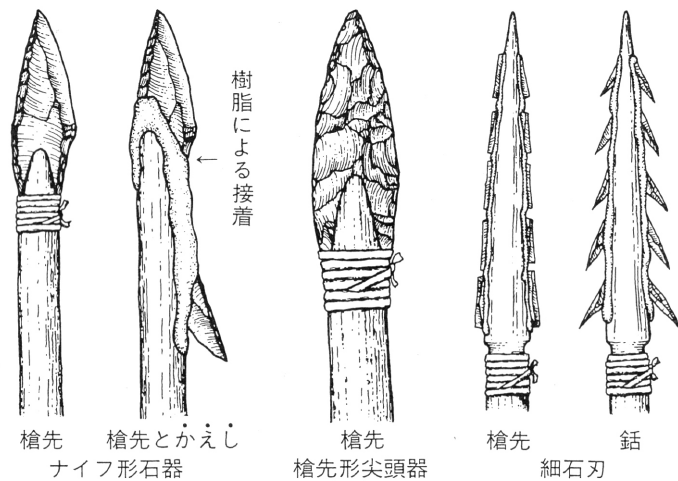
- 1 万年
- 3 万年
- 10 万年

Q2 当時、矢じりやナイフを作る材料として利用された「黒曜石」の産地で有名な「腰岳」は、佐賀
県の何市にあるかな？ [] 市

・伊万里市 ・唐津市 ・鳥栖市



■旧石器時代の主な遺構



■石器の着柄例 群馬県群馬県笠懸町岩宿文化資料館『岩宿時代』より引用

【縄文時代】～縄文時代の生活誌～

今から1万5000年前頃から気温が上昇し、氷河期が終わりました。人々は小型動物の狩猟や木の実の採集、漁業活動などを季節に応じて営みました。また、^{たてあな}竪穴住居に住み、ムラのマツリを行うなど精神面での豊かさが増し、次第に安定した生活をするようになりました。

佐賀市金立町きんりゅう ひがしみょうの東名遺跡は、今から約8000年前の縄文時代早期の遺跡で、国内最古の貝塚群跡かいづかです。この遺跡からは、集落跡など、当時の人々の生活の様子をうかがうことができ、国内でも貴重な遺跡として、「国の史跡」に指定されました。

縄文人の当時の生活の様子がよくわかる遺跡だよ！



■佐賀市東名遺跡の調査風景（佐賀市教育委員会 提供）

【弥生時代 1】～稲作と弥生のくらし～

数万年も続いた狩りと採集の日々に別れを告げ、人々が本格的に食糧生産の段階に入ったのは、今から 2500 年前頃のことです。

ユーラシア大陸の各地で農耕が開始されてから実に 6000 年以上もの時を経て、ようやく日本列島にも水田稲作を主体とする農耕文化が伝わったのです。「弥生時代」の始まりです。

そしてこの佐賀は、大陸に近い地理的条件から日本で最も早く水田稲作を受け入れた地域の一つなのです。

Q3 「稲作」や「^{しせきぼ}支石墓」などの大陸文化は、どうい
うルートで九州に入ってきたのだろう？

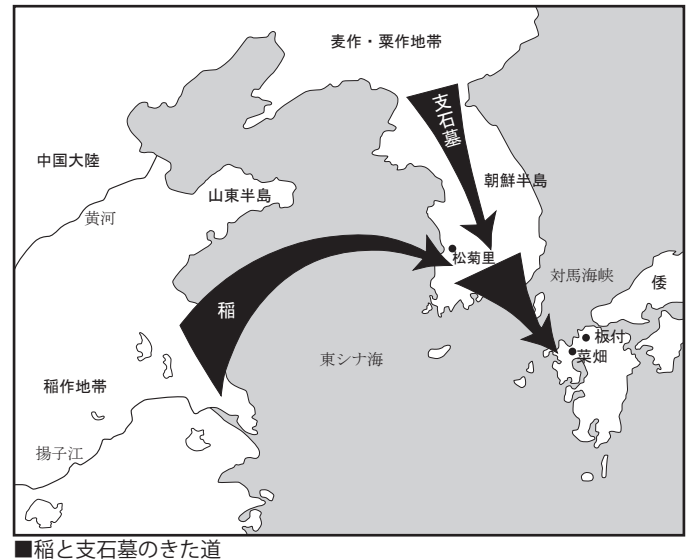
[] 半島から伝わった

Q 4 当時の稲作道具の中で、稲の穂摘具に使ったもの
は何か？

[]

Q 5 日本最古の水田稲作遺跡が唐津市にあるよ。
何という遺跡かな？

[] 遺跡



現在、私たちが食べているの
と同じ^{もみ}ジャポニカという種類
のお米の粃だよ！



■^{もみ}粃の痕跡が残る弥生土器



■田植え、収穫の様子



穴にひもを通して、指
にかけて使うんだね！

3 稲と銅と鉄

【弥生時代 2】～ムラからクニへ～

Q6 『魏志倭人伝』に記されている当時のクニを表した図から、現在の佐賀県唐津市を中心に栄えたクニは何と呼ばれていたのかな？
[] 国

Q7 展示されている「首のない人骨」(吉野ヶ里遺跡)から
当時の社会で何が起きていたと考えられるかな？
[] が起きていた！



■「族長集団の墳丘墓」(吉野ヶ里遺跡)

身分の差が生まれ、
力をもったリーダーが
大きな墓を
作ったんだね！



■物見やぐら

Q8 もともと武器として作られた青銅器は、「銅矛」(みやき町の検見谷遺跡出土)など、次第にどんな
な使われ方に变化していったのかな？
[] 用



展示されている2つの
「銅鐸レプリカ」(吉野ヶ里遺跡
と鳥栖市の安永田遺跡)で金属
の音がするのはどっちか、触っ
てみよう！



■収穫した米を脱穀する想像図



■みやき町検見谷出土の銅矛

5 荘園の時代

【平安時代】～^{しょうえん}荘園と山岳仏教～

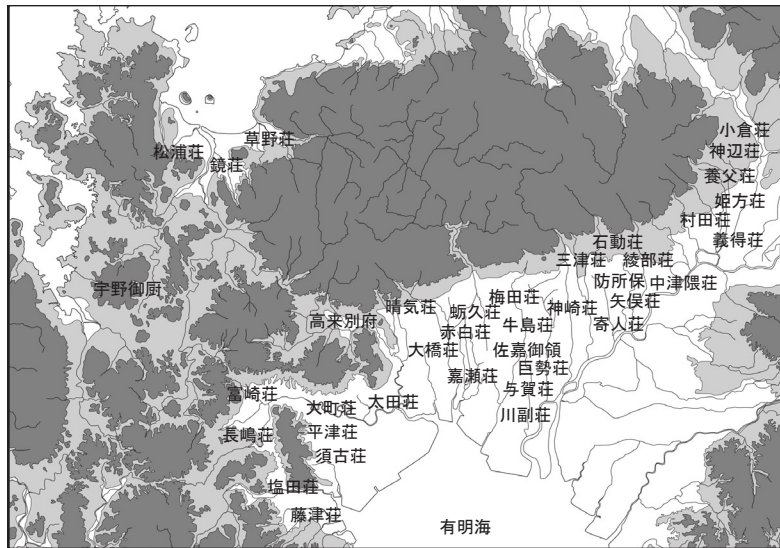
奈良時代より徐々に公地公民制が崩れ、有力な農民や豪族、中央貴族や寺社、皇室の私有地である「荘園」が生まれました。肥前国でも多くの荘園が生まれ、荘園領主の大きな財源となりました。

また、平安時代は山岳仏教も盛んになり、佐賀にはその時代の多くの遺品が残されています。

Q11 鎌倉時代の記録に 3000 町歩
(約 3000ha) とある肥前国最大の荘園
はどこかな？

[] 荘

ここは、海外貿易の拠点として
平安時代末期に宋船が来着した
記録が残っているよ！



■肥前国内の荘園の分布



日本には、平安時代に空海と最澄
によって「真言密教」と「天台密
教」がもたらされたんだよ。そして、
ここ肥前（佐賀）では……

Q12 肥前国の太良山系では、① []
教が中心でした。

] 密教が、^{せふり}背振山系では、② [] 密

唐津市相知町の「^{おうち}鵜殿^{うどのまがいぶつ}磨崖仏」には南
北朝時代から江戸時代にかけて作られ
た 60 以上の石仏が残っている石仏群
があります。



■鵜殿磨崖仏

【鎌倉時代】～鎌倉幕府と肥前国～

12世紀末に鎌倉幕府が成立すると、それまで平氏の勢力が強かった九州を支配するため、有力な関東の御家人らが守護や惣地頭として送り込まれました。

鎌倉幕府成立以前の肥前国は、比較的小規模な領主がたくさんいる状態でしたが、幕府はその土地に長く住みついている領主たちを小地頭として御家人の中に編入していきました。



「守護」とは、国の警備を行う仕事、「地頭」とは、公領や荘園を管理する仕事だよ。
当時の肥前国は、守護より地頭の方が多く、その数は140人程度だったらしいよ！

げんこう
〈元寇〉

蒙古（元）のフビライは文永11年（1274）と弘安4年（1281）の二度、北部九州に攻めてきました。これを「元寇」といいます。「文永の役」では松浦党の白石通泰ら多くの肥前武士が参戦し、博多湾沿岸の防塁築造では、姪浜地区（現在の福岡市）を担当しました。次の「弘安の役」でも龍造寺氏ら、多くの肥前武士が参戦し、活躍しました。



■奮戦する肥前国御家人白石通泰（「蒙古襲来絵詞」レプリカ 佐賀県立博物館蔵）



■「蒙古襲来絵詞」に描かれた〈てつほう〉（鉄放）（「蒙古襲来絵詞」レプリカ 佐賀県立博物館蔵）

元軍の集団戦法と「てつほう」という火薬兵器に日本軍は苦戦したみたいだよ！

1 いのりとくらし

【南北朝・室町時代】～中世のくらし～

相次ぐ戦乱による武家の衰退とともに、中国的な禅文化も次第に衰えました。そして、社会的弱者である民衆を救う新しい仏教が広がり、人々の精神的な支えとして、くらしと深くかわるようになりました。

また、松浦地方には海でつながる朝鮮半島の仏教美術が多く伝えられました。

Q13 どうみょうじならびにみょうほうじけいだい「東妙寺并妙法寺境内絵図」は、鎌倉時代末の僧寺である「東妙寺」と尼寺の「妙法寺」がともに描かれてある貴重な史料である。何町にあるかな？

[] 町

・吉野ヶ里町 ・上峰町 ・みやき町

当時の庶民の質素な住居が描かれているよ！



■東妙寺并妙法寺境内絵図 東妙寺所蔵

【戦国（安土・桃山）時代】～中世から近世へ～

応仁の乱後の戦国時代には、室町幕府は実権を失い、全国各地に戦国大名が勢力を張り合う状態になりました。九州では、結果的に薩摩の島津氏しまづが他の勢力を抑えて覇権を確立しましたが、1587年に天下統一を目指す豊臣秀吉によって、島津氏が制圧され九州はついに平定されました。

Q14 戦国時代の肥前で、肥前・肥後・筑前・筑後・豊前ちくご ひぜん ちくぜんの五か国の支配者という意味である「五州の太守たいしゅう」とうたわれた武将は誰だろうか？

[]

しまづよしひさ おおともそうりん りゅうそうじたかのぶ
・島津義久 ・大友宗麟 ・龍造寺隆信

“肥前の熊”とも呼ばれたらしいよ！



■龍造寺隆信像 佐賀県立博物館蔵

〈朝鮮出兵と肥前 名護屋城〉

1590年に全国統一を果たした豊臣秀吉は、朝鮮半島と中国大陸への侵略基地として、唐津市鎮西町に巨大な名護屋城を築城した。また、周囲には120以上の全国大名の陣屋（大名の屋敷）が密集し、商工業者も含め、当時の名護屋の人口は20万から30万ともいわれています。

この戦闘時に連行された陶工たちが陶磁器の生産を始めるなど、佐賀の生活文化に大きな影響を与えました。



■豊臣秀吉像



■肥前名護屋城図屏風 佐賀県立名護屋城博物館所蔵

名護屋には全国から大名が集結し、「野も山も空いたところがない」ほどの活気があり、日本の政治経済の中心地になったよ！

【江戸時代】～佐賀藩・唐津藩～

関ヶ原の戦いで実権を握った徳川家康は、1603年に江戸に幕府を開きました。こうして始まった江戸時代は、幕府を頂点として、その下に各大名が治める藩をおき、武士階級が全国を支配する幕藩体制が成立しました。

肥前では、佐賀地方に鍋島氏（外様大名）による佐賀藩が成立し、唐津地方には譜代大名が支配する唐津藩がおかれしました。また、現在の基山町と鳥栖市の一部は対馬藩の領地となりました。



佐賀藩の基礎を築いたのは、元は龍造寺隆信の家臣であった「鍋島直茂」だよ。また、佐賀藩と唐津藩の間には、幕府直轄の「天領」が置かれたよ！

9 徳川幕府と佐賀藩

【幕末・維新の激動】～佐賀は世界を見ていた！～

19世紀になると、日本近海に外国船がしきりに出沒し、国内は緊張が高まりました。特に1808年の「フェートン号事件」で長崎警備の不備を責められた佐賀藩は、その後、10代藩主「鍋島直正^{はんせい}」を中心に藩政改革を推し進めました。次第に佐賀藩は西洋諸国との関係を深め、幕末には勢力の強い藩へと成長をとげました。

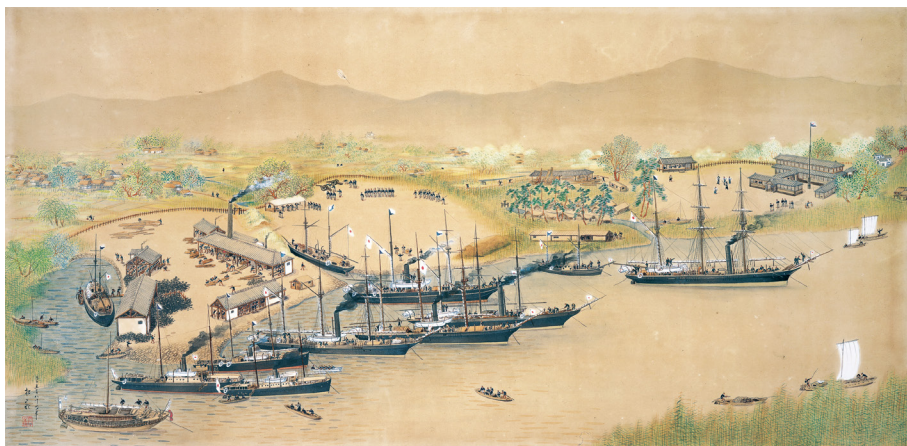


■鍋島直正肖像写真 公益財団法人鍋島報効会 所蔵



■築地反射炉絵図 公益財団法人鍋島報効会 所蔵

新しい時代の考えを持った大名として、幕末の藩政改革を積極的に推し進め、彼の下で明治期に活躍する多くの人材が育成された。



■三重津海軍所絵図 公益財団法人鍋島報効会 所蔵

1850年に日新小学校の近くに反射炉^{はんしゃろ}2基が築かれ、日本で初めて鉄製大砲^{ちゅうぞう}の鑄造に成功しました！

さのつねたみ
佐野常民によって佐賀市川副町に佐賀藩海軍が創設した「三重津海軍所跡^{みえつ かいぐんしょあと}」は、2000年代から発掘・文献調査が進められ、2015年に明治日本の産業革命遺産として、「世界遺産」に登録されました。

日本で最初の実用蒸気船「凌風丸^{りょうふうまる}」だよ！

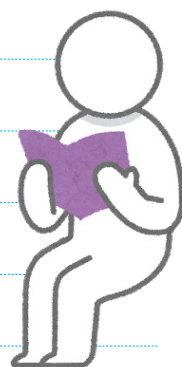


■凌風丸図 佐嘉神社所蔵

Q15 次の説明文と合う1 2人の人物名を答えよう！

佐賀県の歴史と文化を学ぼう

佐賀の歴史はどうでしたか？印象深かったことや、興味がわき、今後もっと詳しく調べたい事柄などを書きましょう！



展示やワークシートに
載っている場所を実際に
訪ねてみよう！

佐賀県立博物館

〒840-0041 佐賀市城内 1-15-23 / ☎ 0952 (24) 3947